

たんぽぽだより



専門性を高める

理事長 苅部 一夫



「やぶ医者」突然、大変失礼な言い方ですが、医療機関を率直に評価した言葉で、誰しも一度や二度はそんな思いをした経験はありませんでしょうか。

実は私も肉親を癌でなくしたとき、担当医の先生がもう少し早く病巣を発見してくれたら完治する可能性もあったのではないかという思いになった経験があります。患者は医療について素人なので、医者を全面的に信頼するしかありません。しかし実際は、同じ国家資格をもった医者でも、その知識や経験によってその判断は大いに違ってくるものです。それがわかっていても、いつでもどこでも誰が診断しても最新のデータに基づいた診断ができればどんなに素晴らしいかと思ってしまう。

医療機関を例にあげたのは、医療従事者の方々には失礼でしたが、実は私の前職の「教員」も同じように世の中から見られていた職業の一つです。新学期が始まると、「年度の担任の先生は、「あたり」「はずれ」と保護者の間では先生への評価がもっぱらの話題になります。授業のやり方、宿題の出し方、連絡の仕方など、日々子供を取り巻く対応の仕方一つ一つをこと細かに学校に要求される方もいらっしゃると思います。当然と言えば当然で、それがどんなに小さなことだとしても、当人やご家族にとっては「人生の一部」が不利な環境であることを回避したいからです。

このような職業人についての評価は、「医者」や「教員」に限らず、どの分野でもある話で、福祉サービスも例外ではありません。しかし、前述の「医療従事者」や「教員」という職種では、その「専門性」への信頼と期待がより大きい職種なのだと思います。

それでは、「専門性」とは何かを考えてみると、一つには「知識」「経験」が重要かもしれませんが、「知識」については一定の選考がありますし、「経験」は時間が必要なのですぐに身につくものではありません。「資格マニア」と言われる人の中には、多くの資格を取得しているにもかかわらず、持っているだけで実際には役に立っていない場合も見受けられます。「専門家」とは資格や免許そのものを指すわけではないのです。

知識は常に新しく更新されますし、経験は時間を経過するだけで得られるのではなく、常に問題意識をもってそれを積み重ねる努力があつてこそその「経験」でしょう。そして何よりその知識と経験で、当人やご家族のニーズをしっかりと受け止め、応えていける資質と行動力を身に着けていることが必須かと思っています。

新内閣は、「分配」の一つに、保育、介護にも光を当てると言っており、福祉事業者としては大いに歓迎するところだと思います。しかし、それは同時に福祉職員（特に専門職）の資質がこれまで以上に問われることでもあります。龍鳳は、すべての職員がより高い専門性を備え皆様の信頼と期待に応えられるように、今後も一層努力していく所存です。

1月の活動予定

日	月	火	水	木	金	土
						1 冬季休暇
2 冬季休暇	3 冬季休暇	4	5	6	7	8
9	10 成人の日	11	12	13	14	15 開所日
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31					

ニヤリホット掲示始めました

11月上旬にたんぽぽ内でのニヤリホット報告を集計し、12月初旬に掲示し始めました。

今後も利用者の皆様の微笑ましい言動や成長した様子などを紹介していきたいと思えます。

(施設環境課)



●ニヤリホットの一例

- 食堂からカレーのいい匂いがして「カレー食べたい」と微笑ましい一言がありました。
- 郵便局に行く人を募ったら「ハイ！」と元気よく返事をして一緒に行ってくれました。
- 散歩のプログラムで、区役所の奥にある公園でブランコを見つけて「乗る！」とって笑顔でブランコに乗っていました。

開進第二中学校

職場体験



11月10日、11日にコロナ禍のため延期となっていた、開進第二中学校2年生の皆さんの職場体験が行われました。10日は就労支援継続B型にて公園清掃へ、11日は生活介護にてウォーキングに同行して頂きました。

感染予防のため半日となり短い時間ではありましたが、緊張している中積極的にご利用者様と関わろうとする場面や、ご利用者様も嬉しそうに挨拶や会話をされている場面が多く見られました。福祉の知識、たんぽぽを知って頂く良い機会になったと思います。



体験後にはご丁寧にお礼のお手紙も頂きました。その中の一部をご紹介します。

- ・緊張している中、利用者さんが元気な声で挨拶してくれて嬉しかったです。
- ・「どうしたら話が伝わるか」利用者さんを第一に考えていた事がすごいと思いました。
- ・利用者さんの得意な事、苦手な事を職員の皆さんが把握して少しずつ手助けをしている事が分かりました。
- ・利用者さん一人ひとりの事を良く考えてその方に合った自立課題を提供していました。

地域交流課

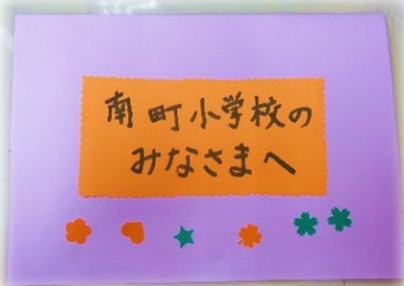
南町小学校からみかんを頂きました！

令和3年11月19日に、今年も南町小学校の校庭で実ったみかんと、心温まるお手紙を、代表の児童と先生が届けてくださいました。南町小の13本のみかんの木は、創立30周年(1982年)を記念して植えられたものだそうです。とっても甘いみかんで、ご利用者様も大変喜んでおられました。ありがとうございました。



たんぽぽからはお礼として12月2日に、就Bから自主製品のマグネットとブローチを、生活介護からはお手紙をお届けさせていただき、副校長先生にお渡ししました。

みかん美味しかったです。



(生活介護よりお手紙)



(就Bより自主製品)

～地域交流課よりお知らせ～

令和3年11月4日に、**使用済み切手**は社会福祉協議会へお持ちしました。
ベルマークは、来年2月ごろ南町小学校へお持ちする予定です。まだまだ募集していますので、引き続きご協力よろしくお願い致します。